

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 6 月 9 日

事業名称		郷土博物館事業費[郷土博物館事業]																																																												
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	郷土博物館費	事業番号	2																																																						
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)																																																													
担当部署・課長名	生涯学習 課 郷土博物館 係					課長名	高田匡章																																																							
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	1 - 2																																																							
【施策名】 生涯学習の充実						総合計画書 (ページ)	35																																																							
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)																																																								
	市民 →					人口(令和3年4月1日現在)																																																								
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)																																																								
	郷土の自然・歴史・民俗への興味関心を高める。 →					来館者数																																																								
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)																																																								
	①企画展示の開催 ②プラネタリウムの投影 ③観察会など講座の開催 ④学校授業の受入れ その他、ロビー展示、資料の収集、整理・保管、調査研究、印刷物の発行、オオムラサキ保護活動等 →					①企画展示開催数 ②プラネタリウム観覧者数 ③観察会など講座の開催数 ④学校授業への協力件数																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">過去2年間の実績</th> <th>当該年度</th> <th colspan="2">成果目標</th> </tr> <tr> <th>平成31年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> <th>令和4年度目標</th> <th>令和5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象指標</td> <td>①の数値</td> <td>人</td> <td>85,337</td> <td>85,266</td> <td>85,294</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>②の数値</td> <td>人</td> <td>45,561</td> <td>40,831</td> <td>44,992</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目 標</td> <td>②の目標値</td> <td>人</td> <td>54,000</td> <td>54,000</td> <td>41,000</td> <td>41,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="8">目標値設定の考え方 新型コロナウイルスの影響がある中、昨年度を上回る数値とした。</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>③の数値</td> <td>①回 ②人 ③回 ④件</td> <td>①4回 ②15,593人 ③145回 ④103件</td> <td>①5回 ②12,374人 ③109回 ④104件</td> <td>①5回 ②14,801人 ③118回 ④103件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	対象指標	①の数値	人	85,337	85,266	85,294			成果指標	②の数値	人	45,561	40,831	44,992			目 標	②の目標値	人	54,000	54,000	41,000	41,000		目標値設定の考え方 新型コロナウイルスの影響がある中、昨年度を上回る数値とした。								活動指標	③の数値	①回 ②人 ③回 ④件	①4回 ②15,593人 ③145回 ④103件	①5回 ②12,374人 ③109回 ④104件	①5回 ②14,801人 ③118回 ④103件							
		単位	過去2年間の実績		当該年度			成果目標																																																						
平成31年度実績			令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標																																																								
対象指標	①の数値	人	85,337	85,266	85,294																																																									
成果指標	②の数値	人	45,561	40,831	44,992																																																									
目 標	②の目標値	人	54,000	54,000	41,000	41,000																																																								
目標値設定の考え方 新型コロナウイルスの影響がある中、昨年度を上回る数値とした。																																																														
活動指標	③の数値	①回 ②人 ③回 ④件	①4回 ②15,593人 ③145回 ④103件	①5回 ②12,374人 ③109回 ④104件	①5回 ②14,801人 ③118回 ④103件																																																									
事業費(実績)					円	7,526,999	7,525,425	6,951,366	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)																																																					
3 経費	財源	一般財源	円	7,526,999	7,525,425	6,951,366																																																								
		特定財源(国・都・他)	円	4,300	0	0																																																								
		(うち受益者負担)	円	4,300	0	0																																																								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	1.7																																																								
		所要人数(再任用)	人	0.5	0.5	0.5																																																								
		職員人件費(再任用以外)	円	16,620,000	16,760,000	14,025,000																																																								
職員人件費(再任用)	円	1,509,500	1,517,500	1,510,000																																																										
事業費+人件費		円	25,656,499	25,802,925	22,486,366																																																									
4 環境変化等	(1) 開始年度		6 年度																																																											
	(2) 環境の変化 令和3年度も新型コロナウイルスの影響により、令和3年4月25日～5月31日は臨時休館となり、それ以降も感染症拡大防止対策でプラネタリウムの席数を制限したり、事業を中止するなどの対策を行った。 また、学校授業にも影響が及び、学校授業への協力件数、プラネタリウム学習投影数も減少した。																																																													

事業名称	郷土博物館事業費[郷土博物館事業]			
担当部署・課長名	生涯学習	課	郷土博物館	係 課長名 高田匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ブラネタリウムの投影や企画展示、講座等の新型コロナ感染症についての対策について質問が寄せられた。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：③学校授業への講師派遣、講座及び展示への協力、オオムラサキ保護活動等		
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 情報共有と話し合い、個々の考え方を尊重しつつお互いが共通理解と目標を持って活動していくこと。			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 広報活動による集客とコロナ禍における3蜜を避けた運営方法の構築			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 講座の中止、実施した場合の各種コロナ対策。密閉空間となるブラネタリウムでは、定員を半分に投影した（その分、入場券がすぐに完売してしまい、入場をお断りするケースもみられた）。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） これまでのコロナ対策を継続していく。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名：生涯学習の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 地域の自然・歴史・民俗、日本画家・吉岡堅二に関することから宇宙の事柄まで（土の中に埋まっている石器、縄文土器から狭山丘陵のオオムラサキ、日本画、天文現象まで）幅広く調べ、資料を収集・保管し、展示、教育普及活動を行う。そうした中で東大和の魅力を守り、伝えていく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	職員が自らが各専門分野での知識・伝える技術を高めるとともに、グローバルな視点を持って事業を展開すること。新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、対策を模索しつつ運営する姿勢。			